

「ずっと受けたかったソフトウェア設計の授業」推薦の言葉

歌手のマイケル・ジャクソンは、2009年に50歳で亡くなった。ビールの評論で著名な英国人のマイケル・ジャクソンは、2007年に65歳で亡くなった。本書で中心的に取り上げられている同じ英国人のマイケル・ジャクソンは、この二人よりはるかに年長で1936年生まれだが、現在でも元気に活躍している。推薦者はこの歌手でもなくビール評論家でもないマイケル・ジャクソンと個人的にも親しいが、その頭脳の明晰さと書く文章の質の高さにまったくの衰えが見られないことに、いつもながら感心している。

大槻繁さんと飯泉純子さんが書かれたソフトウェア設計法に関する本書は、マイケル・ジャクソンによって開発されたプログラム設計法のJSPと、同じジャクソンによるシステム設計法のJSDに焦点を当てるといふセンスのよい構想で組み立てられた、優れた入門書である。本書にはJSP/JSDだけでなく、モジュール化と複合設計、状態遷移モデルなどもきちんと取り上げられており、これを玩味して読めばソフトウェア設計の根幹を把握できることは疑いない。

「ソフトウェア工学」という言葉と概念は、その誕生日が1968年10月7日と知られているが（この日にドイツのゲーミッシュという保養地で、「ソフトウェア工学」という名を冠した最初の会議が開かれた）、この本の内容はそれから半世紀弱の歴史を踏まえた正統的なものである。土木・機械・電気などと比べれば新しい技術分野であるソフトウェア工学も、共通の基盤がしっかりとできてきたことが痛感される。しかも、本書には著者たちの実務経験と教育経験が加えられて、きわめて実践的なものにまとめられている。

本書を広く推薦する次第である。

2011年7月

東京大学大学院総合文化研究科
玉井哲雄